

『日仏図書館情報研究』 執筆要綱

「日仏図書館情報学会会誌規定」（2017年5月27日改訂）に基づき、『日仏図書館情報研究』執筆要綱」を以下とする。

1. 原稿は横書きとする。
2. 使用言語は日本語またはフランス語とする。
使用言語が日本語の場合はフランス語の、フランス語の場合は日本語の標題を併せて付す。また、論文、研究ノートの場合、使用言語が日本語の場合はフランス語の要約を、使用言語がフランス語の場合は日本語の要約または全訳を付けることが望ましい。
3. 原稿の長さは以下を基本とする（日本語換算）。
論文：要約を含め 1 万 2000 字～2 万字
研究ノート：要約を含め 8000 字～1 万 6000 字
書評、文献紹介：4000 字～8000 字
4. 原稿は Microsoft Word 形式、またはテキストファイル形式の電子テキストとする。
5. 著者校正は初校のみとし、誤字・脱字の修正に限る。
6. 原稿は以下の順に記述する。
1) 標題 2) 執筆者名（原綴＋振り仮名） 3) 要約
4) 本文 5) 参考文献等 6) 所属機関・職名等
7. 日本語文中の書名、誌名は『 』で包み、雑誌論文名、記事名は「 」で包む。欧文書名及び誌名はイタリック体とし、欧文の雑誌論文名、記事名は“ ”で包む。
8. 本文中の欧語は原則として慣用呼称をカタカナ書きにし、初出の際に必要なに応じて原綴を（ ）内に記す。
9. 注記・参考文献・引用文献は 1)、2) のように通し番号を付け、ページごとに脚注方式で記載する。
文献の記載方法は以下を原則とする。

【例】

文献全体

岩崎久美子. フランスの図書館上級司書：選抜・養成における文化的再生産メカニズム. 明石書店, 2014, 385p.

Merklen, Denis. *Pourquoi brûle-t-on des bibliothèques ?*. Presses de l'enssib, 2013, 349p.

雑誌論文・記事

平正人. フランス革命期の出版メディア空間. 出版研究. 2010, 41, p. 83-108.

Galaup, Xavier. L'espace musique, troisième lieu. *Bulletin des bibliothèques de France*. 2014, 2, p. 122-127.

文献の一部

岩崎久美子. フランスの図書館上級司書: 選抜・養成における文化的再生産メカニズム. 明石書店, 2014, p. 75-76.

Merklen, Denis. *Pourquoi brûle-t-on des bibliothèques ?*. Presses de l'enssib, 2013, p. 52.

インターネット上の文献

渡辺由利子. 動向レビュー: デジタルレファレンスサービスの変化. カレントアウェアネス, 331, 2017, p. 18-21. <<http://current.ndl.go.jp/ca1895>>(参照 2018.3.12)

* 参照とは、インターネット上の文献を参照した年月日を指す。

同一の文献を再度引用する場合は、以下のように省略して記載する。

前掲 3) p. 25. Op. cit. 3) p. 25.

上掲 p. 25. Ibid. p. 25.

10. 図、表、写真等は個別の電子ファイルとし、図版番号、タイトル、挿入位置を本文中に指定する。原則としてモノクロで掲載する。図、表、写真等に著作権がある場合は執筆者が使用許諾を得ることとし、掲載、電子化及び公衆送信に関しては執筆者が責任を負う。

11. 応募先および原稿送付先

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25 日仏会館図書室内 日仏図書館情報学会事務局

E-mail: sfjbibdoc@yahoo.co.jp

付記 本「執筆要領」は幹事会が 2018 年 4 月 11 日に承認した。